



はーとふる エッセイ

富山市長 藤井裕久

No.30 「漢字って面白い！」

新聞に目をやると「今年も秋刀魚が不漁」であるとの記事が目にとまる。原因は、海水温の上昇や海洋環境・餌環境などの環境変化だとのことである。焼きたての秋刀魚に大根おろしを添えて醤油でいただく、ご飯にもビールにもよく合い、秋はこれが最高の贅沢なのだが、旬の秋刀魚になかなかお目にかかれないとは寂しい限りである。

そういえば、我が家には魚の名前の漢字を書き連ねた湯飲みがある。魚へんに春夏秋冬で鱈、魚夏、鰯、鮫、鮪、鯛、鯉、鮎、鰻、鮭、鯛、鱒…などであるが、魚の姿や漢字の意味を想像するだけでも結構楽しいものである。

さて、小学生の頃に習ったが、漢字には象形文字や指事文字、会意文字、形声文字などの成り立ちがあり、改めてそれらの意味を調べると漢字の奥深さに感心させられる。例えば、象形文字の「日」は太陽で「月」は三日月の形を表している。指事文字は「上」「下」など、会意文字は日+月＝「明」、形声文字は意味を表す部分と発音を表す部分でできており日+青＝「晴」といった具合に、簡単な漢字にも立派な意味がある。

話は変わるが、先日あるコンクールに入賞した子どもたちへの表彰式があった。最近のお子さんの名前は、読みが難しいので気を付けなければな

らない。失礼のないように事前にチェックするのだが、担当者も気を利かせてくれて、賞状には必ずと言ってよいくらい「ひらがな」の付箋が貼ってある。大変ありがたいことである。因みに、ある生命保険会社調べの2022年命名ランキングでは、男の子の1位は蒼(あおい、そう、あお、そら)と凧(なぎ、なぎさ)、3位は蓮(れん)、女の子では、1位は陽葵(ひまり、はるき、ひなた…)、2位は凧(りん)、3位は詩(うた)だそうである。活躍しているスポーツ選手や歴史上の人物などが名前の由来だという方も多いようだが、親は子どもの将来を願いながら、トレンドや字画数なども考えて真剣に文字を選び、思いを込めて命名するのである。

漢字の歴史は長く、約3300年前に中国で生まれ、日本に伝わってから今日まで約1600年の歴史があるとされている。漢字の語源は人々の生活の中にあり、今日まで連綿と伝えられて来た。漢字を理解し正しく使うことは、日本人の精神性や歴史・文化を継承していくことに他ならない。最近は難しい漢字を使わず取ってひらがなで表記する事例が散見されるが、若者の漢字離れが進む中、このような風潮に些か疑問を感じている。デジタル化が進展し、漢字を書くことが少なくなりつつある。私たちは、もっと漢字を大切にしなければならないと思うのである。



秋の味覚、小ぶりでも味は最高！

今月の 広報クイズ

児童虐待かもと思ったら、児童相談所虐待対応ダイヤル「000」へ電話してください。

〇に入る数字は？ 答「000」

富山市公式LINEかはがきで回答してください(1人1通)。

LINEの場合

右の二次元コードから友だち追加をして、メニューから回答。

はがきの場合

答と郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と「広報クイズ」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ。

締切日▶11月15日(必着) 賞品▶500円分の図書カード

当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます(抽選で5人)。



前月の答え ファイトラム 前月の応募総数 412件(正解数404件)



とやま情報局

今月の
放送日 11月26日(日)11:45～

放送局 KNB北日本放送(1ch)

テーマ「富山市立図書館における
読書バリアフリー」

「市民の誰もが使える図書館」を目指して、図書館が行っている大活字本の貸し出しや音訳図書の作成、自動車文庫の巡回などについて紹介します。

HP市ホームページ(No.1002571)